

報 道 資 料

平成27年 5月 1日
安全・安心まちづくり推進課
(奈良県交通対策協議会事務局)
交通安全対策係
担当 吉田、後藤
ダイヤル 0742-27-8730
内線 3333

平成27年 交通安全功労者・功労団体の表彰について

奈良県交通対策協議会（会長 奈良県知事 荒井正吾）では、平成27年 交通安全功労者・功労団体を下記のとおり決定し、5月8日（金）いかるがホール（生駒郡斑鳩町）にて開催する「春の交通安全県民大会」において表彰いたします。

この表彰は、交通安全の推進について、多年にわたり顕著な功績のあった方、及び交通安全活動を積極的に推進し交通事故防止に顕著な成果をあげ他の模範と認められる団体を、県内各市町村（地区）交通対策協議会などからの推薦に基づき選考し、決定したものです。

今回受彰されました功労者・功労団体は、今後も地域における交通安全活動推進のリーダー的存在としてご活躍が期待されます。

記

個人の部（3名）	団体の部（6団体）
鈴木 恒子（橿原市）	奈良交通株式会社北大和営業所（生駒市）
	（一財）奈良県交通安全協会香芝支部（香芝市）
喜多 敏夫（大和郡山市）	大和高田市老人クラブ連合会女性部（大和郡山市）
	大和郡山市民生児童委員連合会（大和郡山市）
森田 敏彦（大和郡山市）	奈良県立法隆寺国際高等学校（斑鳩町）
	奈良県立王寺工業高等学校（王寺町）

活動概要については、別添のとおりです。

平成27年 交通安全功労者・功労団体の活動概要

(個人の部)

NO. 1

	氏名・所在地	活動の概要
1	鈴木 恒子 (橿原市)	<p>橿原市交通安全母の会は、昭和46年4月に奈良県交通安全母の会連合会の設立をうけ「すべての母の力を結集して『交通安全は家庭から』の実践を促進し交通事故のない明るい社会の実現に奇与することを目的として昭和55年5月31日に設立された。</p> <p>当時の組織は、橿原市内の本会賛同地区を持って組織するとされており、被表彰者は平成5年4月から入会し、交通安全啓発活動に従事してきた。</p> <p>しかし、交通安全母の会の会員たちも、高齢化が進み、被表彰者が属する真菅地区を除く他の地域では「活動ができない。」との理由から脱会し、残るは真菅地区のみとなっていた。そのような中でも、被表彰者は真菅地区の会員をまとめ、自ら率先して、交通事故のない明るい社会を実現するために可能な限りの交通安全啓発活動を継続している。</p> <p>同活動は、春・秋の交通安全運動期間中に関係団体と連携し、積極的な交通啓発活動を実践するが、その際には会員とともに手作りした啓発物品を配布する等、真心を込めて心に響く啓発活動を展開しており、多年にわたり交通安全民間組織の育成に尽くされたものである。</p>
2	喜多 敏夫 (大和郡山市)	<p>被表彰者は、平成9年以前に奈良県交通安全協会、郡山支部協会の理事に選出され、また平成13年には同常任理事、治道分会長に、また平成22年には同監事に選出され、現在に至っている。</p> <p>被表彰者は、多年にわたり交通安全協会の役員として、毎月1日、15日の交通監視活動や春、秋の交通安全県民運動期間中の交通安全啓発行事はもちろん、普段から児童生徒に対する保護誘導活動に地域の先頭に立って献身的に取り組んでいる。</p> <p>その取り組み姿勢は、他の役員や地域住民の模範として大いに賞賛に値するなど、多年にわたり交通安全の推進に顕著な功績がある。</p>
3	森田 敏彦 (大和郡山市)	<p>被表彰者は、平成9年以前に奈良県交通安全協会郡山支部協会の理事に選出され、また平成14年には常任理事、筒井分会長に選出され、現在に至っている。</p> <p>被表彰者は、多年にわたり交通安全協会の役員として、毎月1日、15日の交通監視活動や春、秋の交通安全県民運動期間中の交通安全啓発行事はもちろん、普段から児童生徒に対する保護誘導活動に地域の先頭に立って献身的に取り組んでいる。</p> <p>その取り組み姿勢は、他の役員や地域住民の模範として大いに賞賛に値するなど、多年にわたり交通安全の推進に顕著な功績がある。</p>

平成27年 交通安全功労者・功労団体の活動概要

(団体の部)

NO. 2

	名称・所在地	活動の概要
1	奈良交通株式会社北大和営業所 (生駒市)	<p>被表彰団体は、生駒市と奈良市西部を管轄する一般乗合旅客自動車運送事業をおこなっている事業所である。</p> <p>同団体は、毎年地元子供会に対する交通安全教室を開催したり、毎年春と秋の交通安全県民運動期間中には、交通安全協会等の団体と協働して交通安全生駒市民運動出発式や飲酒運転根絶交通安全パレード等各種行事に参加活動をしている。さらに、平成25年に高齢者運転免許証の自主返納を支援するために、レストラン利用時に割引制度を発案し、同系列店のベーカリーレストランサンマルク学園前店及び各店舗に協力を働きかけた。</p> <p>これに本社が賛同し、県内各営業所に支援活動を拡大することとし、平成26年8月1日に高齢者運転免許証の自主返納支援活動団体として本社と警察本部交通部とで協定を結び、支援がなされるなど被表彰団体の取り組みは高く評価されるものであり、他の模範となっている。</p>
2	(一財)奈良県交通安全協会 香芝支部(香芝市)	<p>被表彰団体は、平成20年3月の香芝警察署開署に伴い発足したものである。</p> <p>同団体は、毎月1日と15日を「交通安全デー」と設定し、香芝警察署と連携し、幼稚園児、小・中学生が通学する狭隘な通学路で交通事故の危険にさらされないよう、日夜保護誘導活動を実施していることから、地域住民からは高く評価され期待されているものである。</p> <p>また、交通安全に関する諸行事には積極的に参加し、特に春・秋の交通安全運動では、夜間に飲食店等を巡回し、飲酒運転撲滅の広報啓発を実施し、さらに「高齢者交通安全推進大会」においては、参加する地域住民に交通安全の呼びかけを行うなど、交通安全意識及び交通安全思想の普及・浸透に大きく貢献し、交通事故防止活動に多大な功労がある。</p> <p>さらに、交通安全施設の点検整備にも力を注ぎ、特に通学路の危険箇所を調査し、補修が必要な箇所については速やかに関係機関に積極的に報告するなど、その活躍ぶりは老人会やPTA協議会等他の関係機関からも大いに賞賛され、他の模範となっている。</p>
3	大和高田市老人クラブ連合会 女性部(大和高田市)	<p>被表彰団体は、市在住の年齢60歳以上の老人クラブ女性会員で構成され、発足以来、自治会及び高田警察署など関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進している。</p> <p>特に、高齢者や子供をはじめとする交通弱者の交通事故防止対策を推進する中、年間事業として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 春・秋の全国交通安全運動期間中の街頭啓発活動の実施 2 交通安全県民大会への参加 3 大和高田市高齢者自転車講習会(奈良県交通安全高齢者自転車大会予選会を兼ねる)への参加 4 高齢者を対象としたドライビングコンテスト(高田、香芝警察署共同開催)への参加 5 高齢者交通安全教室の開催 6 交通安全&子育てフェスティバル(毎年9月に開催)における交通安全啓発グッズの作成、啓発活動の実施 7 市交通対策協議会実施の各種啓発活動にあたり、手作り啓発物品の作成、提供などに取り組み、市の交通安全対策の中核としての役割を果たしており、その功労は多大である。

平成27年 交通安全功労者・功労団体の活動概要

(団体の部)

NO. 3

	表彰を受ける団体・代表者	活動の概要
4	大和郡山市民生児童委員連合会 (大和郡山市)	<p>被表彰団体は、市民生児童委員の連合団体で、同団体の主導により各民生児童委員が担当する一人暮らし等の高齢者に対する見守り・支援活動等を実施する機会に、これら高齢者に対する交通安全のアドバイス活動を継続的に実施している。</p> <p>高齢化社会を迎え、高齢者による交通事故の発生が急増する中、普段、老人会等の会合出席せず、交通安全教育に触れる機会のほとんど無い高齢者に対する交通安全教育の実施が課題となっている。</p> <p>そこで同団体の委員は、交番の警察官や交通関係ボランティアと連携して警察官と共に計画的にそれぞれが担当する一人暮らし等普段交通安全教育に触れる機会がほとんど無い高齢者宅を訪問して、個別にピッカピカグッズ（交通安全反射材）の着用を勧める等の交通事故防止のアドバイスを行い、これら高齢者の交通事故防止活動を推進している。</p> <p>このように、同団体は、高齢者に対する交通安全活動を積極的に推進し、高齢者の交通事故防止に顕著な功績がある。</p>
5	奈良県立法隆寺国際高等学校 (斑鳩町)	<p>被表彰団体は、平成22年5月、西和警察署から自転車マナーアップ推進モデル校として指定され、生徒10名からなる自主活動組織「自転車マナーアップ隊」を結成し、毎年5月に全国で実施される全国自転車月間や春と秋の交通安全県民運動において、同隊が同校生徒の交通安全意識の高揚と同校の自転車通学生をはじめとする自転車利用者等に対する啓発活動に取り組んでいるものである。</p> <p>昨年の実績としては、5月の全国自転車月間において、交通関係機関団体の列席の下、新たな自転車マナーアップ隊の結成式を開催し、早速、同校正門前で反射材等を配布する啓発活動を実施した。この活動の様子は、朝日新聞の現地取材を受け、新聞報道されて大きな反響を呼んだ。</p> <p>そのほか、4月の春の交通安全県民運動期間中は、同校の家庭クラブが、校内学生のみならず、一般通行車両に対して安全運転を呼び掛ける啓発活動に取り組んだ。</p> <p>以上のとおり、同団体は、交通安全意識の普及など、交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に顕著な成果を上げ、他の模範となっている。</p>
6	奈良県立王寺工業高等学校 (王寺町)	<p>被表彰団体は、毎年開催されている春と秋の交通安全県民運動期間中、通行車両に対し、交通安全標語を明記した啓発ティッシュを配布して、ドライバーに安全運転を呼び掛ける活動を継続して実施しているものである。</p> <p>このような中、昨年5月の全国自転車月間において、西和警察署が、高校生の自転車のマナーアップを図り、地域住民のマナーの手本となるよう働き掛けたところ、趣旨に賛同が得られ、その結果、同校の生徒11名で構成された「自転車マナーアップ隊」が結成されるに至り、「自転車マナーアップモデル推進校」として指定されて現在に至っている。</p> <p>同結成式の様子は、朝日新聞及び奈良新聞の現地取材を受けて、新聞報道され、大きな反響を呼んだ。</p> <p>昨年の実績としては、4月の春の交通安全県民運動期間中、信号交差点でのドライバーに安全運転を呼び掛ける啓発活動を実施したほか、5月の全国自転車通学生月間においては、自転車マナーアップ隊が、登校する自転車通学生の意識啓発を図るため、手作りの立看板を作成して掲出したほか、自転車のブレーキ等の安全点検を実施した。</p> <p>また、9月の秋の交通安全県民運動期間中も、信号交差点でのドライバーに安全運転を呼び掛ける啓発活動を実施したほか、自転車マナーアップ隊が、通学路において、同隊が独自に作成したスピードダウンを促す啓発チラシや反射材を配布して、自転車の安全利用を呼び掛けた。</p> <p>以上のとおり、同団体は交通安全意識の普及など、交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に顕著な成果を上げ、他の模範となっている。</p>